



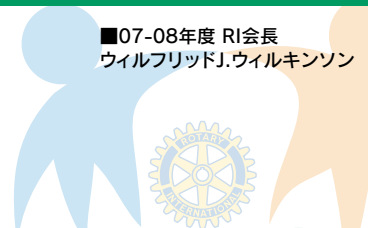
ロータリーは
分かちあいの心

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

07-08年度 RI会長
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン



名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30
■例会場/名古屋マリOTTアソシアホテル
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号
名古屋マリOTTアソシアホテル2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054
■会長/大隅 紀郎 ■幹事/杉山 隆秀 ■会報委員長/西村 己恵子

ガバナー公式訪問日(2RC合同例会)

第788回

2007年10月2日(火) 晴 第12回

斉唱 君が代 奉仕の理想
出席 会員 75名 (出席率算入人数 66名)
出席 55名 出席率 83.33%
前々回補填率 100% (9月18日分)
ゲスト RI第2760地区 ガバナー 江崎 柳節氏
RI第2760地区 地区幹事 河村 嘉男氏

◆会長あいさつ◆



瑞穂 RC 会長 岩本 成郎さん

本日は国際ロータリー 2760 地区ガバナー公式訪問、まことにありがとうございます。

2007-08 年 RI 会長の「ロータリーは分かちあいの心」、それから地区運営方針といたしまして「違いをもたらそう」「ロータリアンとしての自己の明確化」、そのような言葉を我々としても受け継ぎまして、会長スローガンを「和の心」といたしました。また、当クラブの長期ビジョン委員会で検討してクラブテーマを「熱田の森、友愛、気品」といたしまして、楽しい、明るい、そして活力あるクラブ運営に努めておる次第です。特に、会員増強を必須科目といたしますとともに、クラブ奉仕委員会につきましては、月に1回、年に12回、活発な活動をいたしまして、クラブの活性化に励んでいます。

簡単ではありますが、報告とごあいさつに代えさせていただきます。ありがとうございます。

名南 RC 会長 大隅 紀郎さん

今日はガバナー、幹事をお迎えして、多数の会員の皆さんがご参集いただいたことに感謝申し上げます。

当クラブのメインである奉仕活動の一環として、タイまで行ってまいりましたので、今日はそのご報告をさせていただきますと思います。

タイのチェンマイ県のドンチャン寺院のお坊さんが、タイ北部の孤児を保護され、五百数十名を教育しておられます。当クラブとして、今年度 RI 会長のウィルフリッド J. ウィルキンソンさんの課題の一つ「水の問題」ということで、浄水器を設置することに決めました。

それにつきまして、私の属しております非鉄金属業界でタイのバンコクへ研修旅行に行くことになりましたので、その研修旅行の日程の1日を、チェンマイへ行くことに変更していただきました。ロータリー活動とはどうということなのかということをお伝えして、ご案内するつもりです。うまくいったら、当クラブのメンバーが何人か増えるかと思っておりますので、そのときは皆さんに仲良くしていただきたいと思っております。

ありがとうございました。

◆幹事報告◆ 幹事 杉山 隆秀さん

1. 会員の東山さんより海外出張届けが出ております。

9月28日～10月11日 ニューヨーク、ボストン 商用ということです。

◆ニコボックス◆

*名古屋名南 RC、名古屋瑞穂 RC 両クラブさんには地区の活動に多大なるご尽力を頂き感謝申し上げます。本年の地区大会にはごぞってご参加下さいます様お願い致します。

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 江崎 柳節さん

地区幹事 河村 嘉男さん

*江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えして。

細井 俊男さん	黒田 康正さん	野々村憲吾さん
坂田 信子さん	児島 徳和さん	安藤 鏡一さん
新原 尚さん	佐々木元彦さん	小野 雅之さん
菊岡深智子さん	山本 誠一さん	宮崎 良一さん
杉山 隆秀さん	森 昭勝さん	江村 雅夫さん
川村 繁生さん	森田敏二三さん	加藤 英敏さん
白藤 憲雄さん	犬飼りさ枝さん	柴田 照子さん
中村 勝さん	真木 實さん	久米 伸治さん
田中 省三さん	中西 芳子さん	平沼 里子さん
堀田 光江さん	長尾 浅吉さん	松岡 昭さん
朝比美和子さん	猪村 美之さん	三浦 和人さん

第790回例会(10月16日)のご案内

職場例会 担当:職業奉仕委員会
於:古河電気工業・三重事業所

加藤 宜之さん 大橋さなえさん 鈴木 厚司さん
太田 敦士さん 鈴木 一博さん 杉山 隆秀さん
佐々木 眞さん 小澤 久隼さん 本多 利郎さん
坂本 晃さん 西村己恵子さん 木村 猛さん
木下 福郎さん 三浦 隆さん

* 次男が10月1日(財)日本不動産研究所に就職しました。ホットしました。 武藤 正行さん

* 今日の一言。「出る杭は打たれる！でも出よ！！」

小坂井重樹さん

* 久しぶり。

鈴木 享さん

本日合計 76,000円 累計 654,000円

◆ガバナー卓話◆

●RI第2760地区 ガバナー 江崎 柳節さん

皆様、こんにちは。今日は、名古屋瑞穂ロータリークラブと名古屋名南ロータリークラブにおじゃまさせていただきました。

名古屋瑞穂RCは次年度、近藤ガバナー補佐がお出になるところで、28年目のクラブでございます。

この瑞穂RCは、クラブにかなりの工夫をしておいでで、増強委員長が理事、ロータリー情報も理事に入っておられます。これは見事なこととして、CLPは、RIが100年の歴史の中でクラブを活性化する、あるいは現在のクラブの機能が十分働いているかどうかというチェックをするのに最もいい手法です。あの五つの条項を見直してみると、充実したクラブと思われるけれども欠点が出てまいります。

私は今月のガバナーズレターで、CLPを解剖するというを書きましたので、少なくとも会長、幹事さんには、ぜひお目通しをいただきたいと思っております。

この瑞穂RCは、奉仕プロジェクトもかなり充実しております。ローターアクトクラブをはじめ、AEDや、環境保全にも意欲的であります。WCSでは、ウガンダに小学校を造ったり、水のことで向こうの真のニーズを探ってやっていただいております。

名古屋名南RCもまた、17年目を迎えるりっぱなクラブです。両クラブの会長さんともそうですが、RI会長テーマと地区の実行方針をまことによくご理解いただいております。ロータリー財団には、いいプロジェクトを立てたクラブに、補助金が下りるプログラムがございます。ロータリーではITの格差がございますが、名古屋名南RCは、その格差を解消するために、補助金でパソコン教室を開いております。また、ここには地区の増強委員長の菊岡さんがおいでになり、増強についてもみごとに活躍をいただき、今のところ地区として日本一です。

また、クラブ管理運営の中では、研修機能ははつきりしないということが日本中のクラブで問題になっております。入会后、ロータリーの真髄を分からないまま退会される方がみえますが、ロータリー情報委員会が新しい情報を提供することで意識を向上させるとよいと思います。

ではRIのテーマをお話したいと思っております。RI会長は、ウィルキンソンさんという、カナダの公認会計士のかたです。今年度のテーマは「ロータリーは分かちあいの心」です。愛を分かちあうということが親切心を発露することだということです。そして、分かちあうということはどういうことかと申しますと、自らを相手のために捧げよう、そして我を忘れて、相手のために我を捧げよう、ということが「分かちあう」の定義だと、おっしゃっております。

それから今年の地区のテーマは、One Difference、「違いをもたらそう」として、その下に「ロータリアンとして自己の明確化」といたしました。私どもは実業界のいろいろな職業分類の中から、お一人ずつに代表として来ていただいております。そしてもう一つ、専門職業人という分野、たくさんある専門分野の職業分類の中から、お一人だけに来ていただいております。そして、週1回、必ず集まって、自分たちを磨こう、そして奉仕の理念というものがどういうものかみんなで学ぼうとしております。こういう志を持った集団で、しかもそれが肅々と、長年にわたって行われております。世の中では、社会文化史上、こんな奇跡的な集団はまたと発生しないだろう、まさしくマジックだというふうに定義付けられております。

両クラブは地域に向かってだけではなく、ウガンダに小学校を造ったり、タイに水の保全のために井戸を掘ったりしていますが、世界ではもっと大きなことが行われております。

例えばポリオプラスに関しては、世界中のロータリーの皆さんから600億円寄進していただいておりますが、それで、10年間に約20億人のかわいい子どもに、あの忌まわしいポリオという病気にかからないように免疫をつけました。

また、識字率向上のため、ロータリーが開発した画期的なCLE(Concentrated Language Encounter)という方法がございます。それを使いまして、世界中で、字が読めない人が住んでおるところに、ロータリアンが字を教えに行っております。恐らく日本やアメリカが、政府援助資金で何百億もその地区につき込むよりも、ロータリーのCLEを進めたほうが、その国あるいは地域の人たちの幸せのためには、素晴らしく大きな効果があるだろうと言われております。

実は、今申し上げましたポリオプラスというメガプロジェクトがほぼ終息宣言を出していいところまできております。次にロータリーはどういうことに向かっているのか。それは平和に向かっている努力です。ロータリーは、1940年、50年ごろに、本当に世界の平和に貢献した歴史がございます。1945年には敗戦国である日本、ドイツ、イタリアをケアする国際的な機関が必要だということで、その年にサンフランシスコで行われましたロータリーの世界大会で、国連を作ろうということが決議されました。そのころ、ユネスコも、やはりロータリーのロンドン大会で決まったという記録もございます。それから、キューバのハバナでのロータリー世界大会の決議は人権宣言でした。ご承知のように、日本の憲法も、アメリカの憲法も、ほとんどの国の憲法の構成は、そのときに出たハバナの人権宣言を採用しております。それが今、国連に移管されまして、国連人権宣言として続いて、今日まできております。

そのロータリーが、最近、ロータリー世界平和フェローという奨学金制度を作りました。世界の六つの、非常に優れた大学の中に、ロータリーが平和と世界紛争を解決するための学部というものを作りました。国際基督教大学(日本)、UCLAパークレー校(アメリカ)、ブラッドフォード(イギリス)など、ロータリーから、世界に平和をもたらすため、紛争解決の専門家を育てようということになっております。募集は来年度に回りますが、当地区からも世界平和フェローを送り出すことになりました。11月18日に地区大会を、小牧でやらせていただきますが、そのときにはそういう人たちの講演も用意しております。

どうぞご清聴ありがとうございました。